

# 中心市街地の活性化

## 与件変化に適応する“まちづくり”

需給属性における集団と個のシェアワーク！

### [ 要約 ]

- . 「まちづくり」の変革を取り巻く大波
- . 国家的な思想と政策に応答する地方行政
- . 新たな「まちづくり施策」への技法を求めて
- . **見えてきた方向は**

中心市街地の活性化 まちづくりへ新しい道筋を！

<http://www.udit.co.jp/kassei/index.html>

文責：「中心市街地活性化 与件変化に適応する“まちづくり”」研究班

# 中心市街地の活性化 与件変化に適応する“まちづくり”

需給属性における集団と個のシェアワーク！

## [要約]

- . 「まちづくり」の変革を取り巻く大波
  1. 激変する与件への適応
  2. 商業の業態・時系列的な動態と適応指向
  3. 混沌の主因を読み解く背景
    - 1) 政策のボトルネックは組織のボトルネックに
    - 2) 有限に適応する「心ともの」の準備の時代へ
  4. 地球の新波動に適応しようとする消費者意
  
- . 国家的な思想と政策に応答する地方行政
  1. 米国の事例に見る商店街活性化への道
    - CDCによる「まちづくり」への挑戦
    - メインストリートプロフェッショナルガイド
  2. 権限委譲がもたらした行政課題と技術交流
  3. 我が国における地域別商業の一般的傾向
    - 1) 市民のライフ・スタイル適応へ商業環境の模索
      - a. 専門店の躍進からさしかかった変曲点
      - b. 市民のライフ・スタイルと商業環境の適応模索
    - 2) 地域商業再生へ原点を
    - 3) 中心市街地経営視点からの大型店対策
      - a. 中心市街地における核店舗の役割
      - b. 大型店多極化の主因と今後の動向
    - 4) 大いなる分担・調和
    - 5) 市民と商業者も生活者として心の連携で
  4. 原子意識からグループ意識へ転換機会の活用
    - 1) 物的有限のもつ宿命的な働き
    - 2) 量子力学から常温核融合の知見を
    - 3) 創造意志と商業政策の共鳴
    - 4) 与件適応力の高速化と的確に識別する手段を

・新たな「まちづくり施策」への技法を求めて

1. 地域商業の与件変化で検討すべき要素

1) 地域構造と大型店動向

立地与件の動向より大型店活力の動向を読む  
地域の大型店動向に関する構造軸上の位置

2) 地域・世代で異なる生活スタイルの理解を

家計調査から見た年代別消費投資の傾向  
地域で異なる消費性向

2. グループ意識へ変転に際し商業政策上の課題

1) コミュニティ属性の生活意識特徴の理解から

2) 関係者の意識ギャップ融合化モデルの研究へ

3) コミュニティから地域格差是正への道を

3. 消費生活における創造認識の解析モデルと活用

1) 消費者と商業者等意識のギャップ識別手法

2) 消費指向意識の関係者ギャップ検討

3) 消費意識軸性比較から融合政策へ

a. 各者消費意識軸性内容の相対的比較

b. 融合化し商業政策へ

消費特性に関わる言葉の分散状況

言葉群からの言葉のピラミッドとタイプ評価

4) 消費者対応へ新たな商業政策をめざして

・**見えてきた方向は**

1) **小売商業の活きる領域へ**

2) **新たな意識ギャップ識別対策モデルの構築へ**

## 見えてきた方向は

### 1) 小売商業の活きる領域へ

現代の「心ともの」に関わる複雑課題に対処する問題解決型シナリオの新たな策定方針やソリューション技術に革新が見当たらないこと及び市民による土地利用政策判断技術が未成熟な中で、様々な商業政策がなされてきたことで混迷が続いき、我が国における消費生活の変容に対して道筋がなかなかできないことの要因ではないかと思われます。

市民の消費生活意識と商業者の商業環境への意識と商業政策者の政策展開意識の間の大きなギャップに気がつかない、或いは人間としての価値変容移行にあることについて相互に識別力の不足とか、人の思いへの対応ソリューション技術が手探り状態であることが全国的な疲弊を生じさせている主因ではないのでしょうか。

このことは、もはや物的な個の対立意識の上で形成されてきました力関係（物性に準拠する重力モデルによって説明された時代の消費吸引型モデル）の経済政策では対応が困難であり、地球規模とも想われます与件変化に対応すべくグループ意識（集団として共存・協働への意志）として放つ波動に共鳴する創造的な消費性向の時代に、いまや移行しつつあるという経済政策、そしてソリューション技術が必要であることに気づく必要があるように思われます。さらには、商業の原点である生活必需性と生活創造性・高度専門性について小売商業の業種群別そして大型店、専門店個々の役割分担・分かち合いによる多様性保持の手法が必要ではないかと思います。

全国的な疲弊を生じさせている主因からの改善視点

市民生活波動と商店主MDの波動、商業政策者の政策波動のミスマッチ改善技法

物的な個の対立意識（原子）の時代からグループ意識の時代への政策変換  
都市行政の政策に関する判定力と市民による土地利用等政策判断力の育成

このことは、企業規模格差だけでなく、我が国内だけでなく、この地球規模的の与件変化への対策は、世界中の生活基盤に大きく貢献している小売り商業を取り巻く環境立案と同じと考えなければならないよいにも思われます。

そして小売商業は多分、与件変化に適応して進化する人間の、地球人類としての大きな試金石を提供する可能性をもつからであります。この現状に対する貢献性を理解し、これに応える道こそ小売商業の活きる道ではないかと思うのであります。

### 2) 新たな意識ギャップ識別対策モデル構築へ

新秩序という時代波動の要請する都市環境、街、店舗の政策的手段の研究へ

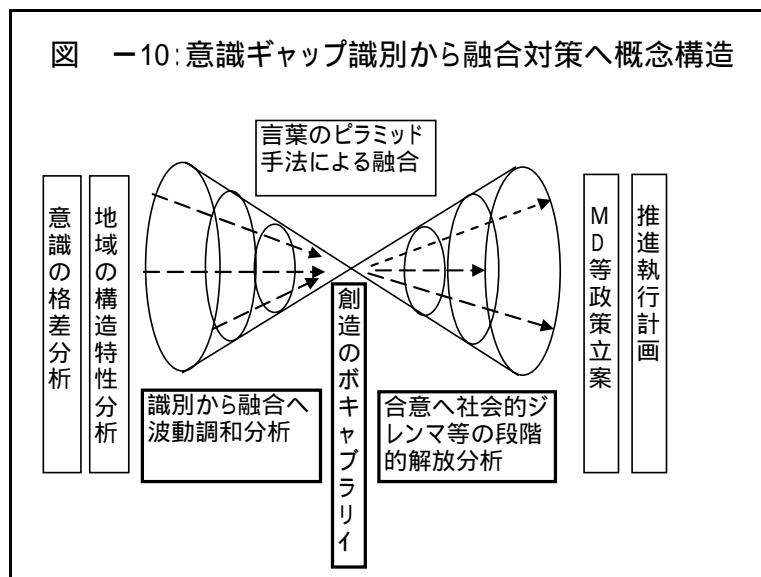
今回の分析のように、ジャンプして言葉のピラミッド手法で創造のボキャブラリー：計画

コンセプトを構築するのではなく、今、求められていますのは、商業関係者と市民そして行政等の意識ギャップ融合化の科学的技術措置とその有効性の実証であります。

その解法とは、商業専門家も消費者の動きも、意思である市民の思いを波動としてとらえ、グラビティ・モデルやエントロピー・モデルなどという物的な因果関係式から、ことばが持つ波動や粒子に関するシュレジンガーなど波動方程式と多変量解析の手法を導入し、関係者属性別の意識ギャップ内容の識別とその認識の融合化策や統合意思への理解、共鳴する波動を持つ政策の構築技法でありましょう。

市民意識に対し、地域の産業及び自然風土等と生活構造特性を併せ重視した政策転換を進める手法が大変有効ではないかと考えています。

なお、この意識格差融合策の研究では、地域の自然風土と消費嗜好性、ライフ・スタイルへの訴求性、商品の入手手段の選定、商品購入地域、商店街選択の感性的・指向的事項に関する質問等への反応をアンケート的フリートーカーキング手法やKJ法等用いて、ボキャブラリーの意識水準と発生頻度から波動解法の検討を行うことが肝要と考えています。



この検討手法を用いて、地域の現地にて実験し、波及させる手段を、意ある方々と共に共同研究し、地域別に「地域活性化課題の解決方向の示唆」を成果として公表して行きたいと考えています。意ある方々の共同研究要請をお待ちします。

注)共同研究に关しますお問い合わせは、当「まちづくりステーション」の「共同研究のすすめ」の項をご照覧くだされば幸いです。